

山口村「越県合併」慎重派の知事への申し入れ 要旨

平成16年11月29日(月)

知事室

14時40分～ 15時00分

【信州木曾路山口村の会 庄司代表】

山口村が示した財政シュミレーションは根拠のないものであり、また、「村民意向調査」で247名の不在者投票が通常の3倍あり、これは弱い立場の老人クラブを駆り出して誘導しています。村内でもっと十分な時間をかけて合併を検討していきたいと思っています。

【山根弁護士】

27日に松本の集会でも強く言ったが、地方自治法第7条第1項でこれは知事が定められているにもかかわらず、総務部長が総務委員会で「提案しないのは知事の怠慢だ」と言っています。

【田中知事】

そのようなことは言っていないはずですが。

【庄司代表】

今日は全国から6万1,241名の署名を持ってきました。合併が白紙になるまで続けるつもりです。

【田中知事】

県内の合併と違い、長野県全体の問題であると認識しているところです。就任以来、県議会と知事はクルマの両輪であると言ってきたが、この署名はどちらに託されますか。

越県合併を進めてきたのは、加藤村長のお考えだと思いますが、先ほど申し上げたとおり、この問題は長野県全体の共通の問題です。

県民が主体的に判断し、行動することが私が今まで申し上げている民主主義であり、決しておまかせ民主主義ではないということです。